

## 7 令和5年度 重点事業及び事業計画

## I 地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取り組みの推進

## 1. 重点事業とした理由・背景

少子高齢化や疾病構造の変化が進む中、健康寿命の延伸に向け、高齢者だけでなく、子どもを産み育てる人々、子どもたち、障がいのある人々などを含む全世代の健康生活を地域で支える取り組みが必要である。3 職能、保健医療の各専門職種それぞれにより、地域における看護提供体制の強化が求められている。

また、国の施策ではエビデンスに基づく疾病予防・健康づくり、重症化予防も一層推進するとされており、看護職は医療機関だけでなく、地域において疾病予防や疾患管理のための看護活動を行い、人々の健康を支援する人材育成体制に向けて各機関との連携や協働が必要である。

## 2. 令和5年度の取り組み(実施内容)

- 1) 地域で暮らす全世代の人々の健康増進や療養支援を提供できる体制の確保と看護活動の推進
  - (1) 各地区支部で取り組んでいる多職種事例検討会から得られた看看連携の現状課題の共有と、更なる連携強化(地区支部長等を対象とした目的、目標の再確認および課題の共有)
  - (2) 看看連携リーフレットの活用と広報
  - (3) 助産師職能による「いのちの教育」の実践や3 職能による「生きる力を育むいのちの教育」の推進
- 2) 病院・施設・在宅・地域間をつなぐ看護サービスが提供できる人材の育成
  - (1) 施設-在宅を支援する看護師育成研修
  - (2) 医療・介護・福祉施設職員研修
  - (3) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修
  - (4) 医療的ケア児等支援者研修
  - (5) 「3職能生きる力を育むいのちの教育」研修
  - (6) ELNEC-JG 研修
- 3) 各機関と連携した訪問看護師の人材育成体制の推進
  - (1) 訪問看護総合支援センター事業の推進
    - ① 訪問看護就業サポート事業
    - ② 訪問看護出向事業
    - ③ 研修事業

## 【評価指標】

- 1) 多職種事例検討会 事例検討会 報告書を活用した評価
- 2) 人材育成研修:募集人数の達成度とアンケート評価
- 3) 訪問看護出向件数
- 4) 訪問看護就業サポート研修の件数

## 3. 令和4年度事業報告

- 1) 地域における健康・療養支援や母子・障がい者・子どもたちを支える地域包括ケアシステム構築に向けた連携の強化
  - (1) 多職種事例検討会から得られた看看連携の現状課題の共有と、更なる連携強化  
事例検討会 5地区支部 114名参加
  - (2) 看看連携リーフレットの活用と広報 事例検討会での活用
  - (3) 助産師職能による「いのちの教育」の実践や3 職能による「生きる力を育むいのちの教育」の推進  
「いのちの教育」小中高校生51校 3,170名受講
- 2) 病院・施設・在宅・地域間をつなぐ看護サービスが提供できる人材の育成
  - (1) 施設-在宅を支援する看護師育成研修:6日間(講義3日間・実習3日間) 13名受講
  - (2) 医療・介護・福祉施設職員研修:3時間5プログラム 112名受講
  - (3) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修:4日間 27名受講

- (4)医療的ケア児等支援者研修: 2日間 13名受講
  - (5)「3職能生きる力を育むいのちの教育」研修:1日 51名受講
  - (6)クリニカルラダーに基づいた教育計画
- 3)関係機関・施設等との連携
- 訪問看護総合支援センター 開設・運用に関する会議 2回開催